

京都教区時報

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

2～6頁 2000年度会計報告

6～7頁 パガサ・フィリピン共同体

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジ
ナ」代表嶺崎(たけざき)裕子さ
んまで申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601



共同性を持ちながらの協力

共同宣教司牧を推進するための
キーワードに「共同性」がありま
す。これは、共同体的な性格を持っ
ているということです。

具体的には、団体スポーツの試
合途中にタイムをとり、円陣をつ
くって作戦や目的を確認して、気
分を新たにすることと同じ性格を
持つということが出来ます。個人
プレーではなく、みんなでチーム
ワークを大切にしながら、それぞ
れの役割と責任を分担して、互い
に協力しながらゴールを目指すこ
うことです。

このように、司祭も信徒もチー
ムの一員として共同体に関わり、
それぞれの役割を果たすことが出
来るように、互いに理解し、確認
し、協力し、ふりかえり、補い合
いながら、祈り、選り、歩んでい
くのです。

(写真は、昨夏広島で行われた平
和ミサに、京都教区から奉納され
た、寄せ書きの共
同祈願文が記され
たカップろうそく
です)

5
2001

2000年度カトリック京都司教区会計収支報告

いつも京都教区のために信徒の皆さまからのお祈りと経済的援助を賜り、感謝申し上げます。また、各小教区・修道院・学校施設の各位からの、特に財政面での寛大なご協力にも感謝申し上げながら、2000年度カトリック京都司教区の教区本部会計収支報告及び小教区会計収支報告をいたします。

〔所轄庁への書類提出義務〕

皆さまご存知の通り、宗教法人法及び租税特別措置法の定めるところにより、教区本部会計および小教区会計の、財産目録、貸借対照表、収支計算書等を所轄庁である文化庁に、また、収支計算書を所轄税務署にも提出することになっています。

正しい報告のために、より一層皆さまのご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

〔小教区納付金Aについて〕

小教区納付金Aとして、教会維持献金とミサ聖祭献金【クリスマス、復活祭等大祝日（特別）献金を除く】の15%をお納めくださるようお願いしています。ほぼ全小教区からご協力をいただき、ある小教区からは規定額以上のご協力をいただきました。教区財政に対する関心と寛大なご協力に対して、この紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。

〔小教区納付金B（司祭給与分）について〕

前年度より、司祭給与相当額の総額を、教区内全ての教会の維持費総数で分担していただく方式に変わりました。小教区納付金Bについても、皆様の寛大なご協力の結果と司祭給与の引下げと賞与カットを含む新「司祭給与システム」の実施に伴い、司祭給与相当額での教区持出しはなくなりました。

〔総合的に〕

① 1999年度と比べて小教区からの納付金Aの総額は5,420千円（10.7%）、納付金Bの総額は1,253千円（1.6%）、納付金Dの総額は100千円（5.6%）と、それぞれ減少しております。教会財政安定のためにもより一層のご尽力をお願いいたします。

また、神学生養成基金としての「一粒会献金」は、前年対比1,320千円（13%）増加のご協力をいただきました。なお、大聖年特別献金には2,720千円のご協力を賜り重ねて感謝申し上げます。

② 2000年の支出をみますと、昨年に比べ「教区事業活動費」が5,485千円の減となっていますが、これは大聖年関連経費が昨年度の支出として処理されたことによります。また、人件費総額では16,620千円の減となっていますが、教会における専従職員の減少に伴うものであります。

③ 2000年も皆様の寛大なご協力のおかげで黒字決算となりました。尾鷲と近江八幡の土地売却益6,200万円余りと寄付金収入、昨年から繰越金を併せて1億2400万円を「福音宣教基金」に積み立てることができました。この基金は、将来の福音宣教活動及び高齢司祭のための基金となります。

④ 一時期に比べるとずいぶん教区財政も落ち着いてきましたが、司祭・信徒の高齢化を考えると、将来に向けて決して楽観できないと思います。20才以上で収入のある方は収入の3%を目安として教会維持献金の納入と口数増加の取組みをお願いします。また、新しく作成しました維持献金納入袋を印紙税対応策のためにお配りしたものでありますが、活用していただければ幸いです。

2001年4月

カトリック京都司教区

本部事務局 森田直樹

京都司教区 2000年度 教区本部会計収支報告書

自2000年1月1日 至2000年12月31日

(単位：千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
I 経 常 支 出	210,063	I 経 常 収 入	296,966
1 福 音 宣 教 活 動 費	57,422	1 納 付 金 収 入	245,666
祭 儀 費	1,659	司 教 司 牧 納 付 金	4,968
教 育 養 成 費	5,429	司 祭 司 牧 納 付 金	20,642
諸 委 員 会 活 動 費	858	小 教 区 納 付 金 (A)	45,176
教 区 事 業 活 動 費	46,305	小 教 区 納 付 金 (B)	75,207
諸 活 動 団 体 補 助 金	1,770	小 教 区 納 付 金 (C)	38,081
会 議 費	1,146	小 教 区 納 付 金 (D)	1,695
図 書 費	255	福 音 宣 教 協 力 金	9,940
		建 設 分 担 金 収 入	49,957
2 寄 付 金 支 出	90		
3 特 定 献 金 支 出	16,292	2 寄 付 金 収 入	31,788
		一 般 寄 付 金 収 入	10,226
4 人 件 費	113,675	収 益 部 門 収 入	21,275
司 祭	40,732	そ の 他 の 寄 付 金	287
教 区 職 員	34,862		
小 教 区 職 員	38,081	3 補 助 金 収 入	500
		高 齢 者 雇 用 促 進 補 助 費	500
5 維 持 管 理 費	7,029		
6 事 務 管 理 費	15,555	4 特 定 献 金 収 入	19,012
II 墓 地 勘 定 支 出	3,059	II 墓 地 勘 定 収 入	5,659
墓 地 管 理 費	1,777	永 代 使 用 料 収 入	3,305
墓 地 整 備 費	1,282	管 理 収 入	2,354
III 特 別 勘 定 支 出	5,144	III 特 別 勘 定 収 入	15,440
一 粒 会	1,204	一 粒 会	11,500
ア ジ ア 基 金	656	ア ジ ア 基 金	656
一 万 匹 の 蟻	3,284	一 万 匹 の 蟻	3,284
IV 資 産 支 出	175,740	IV 資 産 運 用 収 入	71,141
建 設 勘 定	41,090	預 金 利 息 収 入	8,864
建 物 付 属	8,867	土 地 売 却 益	62,277
什 器 備 品	1,174	預 金 取 崩	
通 信 機 器	179		
車 両	430		
福 音 宣 教 基 金	124,000		
V 予 備 費	0	V 雑 収 入	20
支 出 計	394,006	収 入 計	389,226
次 期 繰 越 金	41,274	前 期 繰 越 金	46,054
支 出 合 計	435,280	収 入 合 計	435,280

京都司教区 2000年度 小教区会計収支報告書

自2000年1月1日 至2000年12月31日

(小教区数:55)

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
経 常 支 出 の 部		経 常 収 入 の 部	
(宣 教 司 牧 費)	76,217	(信 徒 通 常 献 金)	282,528
祭 儀 費	17,976	教 会 維 持 献 金	221,188
司 牧 費	3,446	ミ サ 聖 祭 献 金	44,609
委 員 会 活 動 費	6,029	大 祝 日 (特 別) 献 金	16,731
宣 教 広 報 費	3,842	(特 定 献 金)	20,640
宣 教 育 成 費	711	(特 別 献 金)	118,786
養 成 費	2,584	祭 式 献 金	28,424
青 少 年 育 成 費	3,925	一 般 特 別 献 金	58,884
新 聞 図 書 費	2,618	営 繕 献 金	12,133
会 議 費	650	建 設 献 金	14,555
行 事 費	13,342	墓 地 納 骨 堂 建 設 献 金	524
慶 弔 費	4,692	特 別 事 業 献 金	4,266
援 助 費	12,922	(助 成 金 収 入)	3,035
諸 団 体 分 担 費	3,480	教 区 助 成 金	3,035
(特 定 献 金 支 出)	20,926	修 道 会 助 成 金	0
(納 付 金 支 出)	181,693	(墓 地 ・ 納 骨 堂 等 収 入)	4,512
教 区 納 付 金 支 出 (A)	40,623	非 課 税 永 代 使 用 料 収 入	963
教 区 納 付 金 支 出 (B)	68,727	課 税 永 代 使 用 料 収 入	0
教 区 納 付 金 支 出 (C)	34,086	管 理 料 収 入	3,045
教 区 納 付 金 支 出 (D)	1,473	そ の 他 納 骨 堂 等 収 入	504
修 道 会 納 付 金 支 出	1,020	(補 助 活 動 収 入)	3,949
建 設 分 担 金 支 出	35,764	(雑 収 入)	5,184
(運 営 管 理 費)	129,550	(資 金 運 用 収 入)	16,550
(補 助 活 動 支 出)	1,439	預 金 利 息 収 入	16,113
(墓 地 ・ 納 骨 堂 管 理 支 出)	2,053	受 取 配 当 収 入	37
		信 託 利 子 収 入	400
経 常 支 出 合 計	411,878	経 常 収 入 合 計	455,184
財 務 支 出 の 部		財 務 収 入 の 部	
(固 定 資 産 支 出)	108,166		
建 物 附 属 設 備 購 入 支 出	22,673		
構 築 物 購 入 支 出	8,157		
祭 儀 備 品 購 入 支 出	5,569		
器 具 備 品 購 入 支 出	4,881	(固 定 資 産 収 入)	55,049
墓 地 使 用 権 取 得 支 出	6,500	特 別 目 的 預 金 取 崩 収 入	55,049
特 別 目 的 預 金 積 立 支 出	60,386		
(固 定 負 債 支 出)	3,000	(固 定 負 債 収 入)	0
長 期 借 入 金 返 済 支 出	3,000	長 期 借 入 金 収 入	0
(そ の 他 の 財 務 支 出)	14,635	(そ の 他 の 財 務 収 入)	16,366
(資 金 調 整 勘 定)	△3,747	(資 金 調 整 勘 定)	△12
財 務 支 出 合 計	122,054	財 務 収 入 合 計	71,403
支 出 合 計	533,932	収 入 合 計	526,587
次 期 繰 越 金	256,907	前 期 繰 越 金	264,252
合 計	790,839	合 計	790,839

特定献金一覧

(2000年度会計報告より)

	児童福祉 の日	四 旬 節 愛の献金	聖地のた めの献金	世界広報 の日	聖ペトロ使 徒座献金	国際協力 の日	世界宣教 の日	ア ジ ア 交流の日	宣 教 地 司祭育成	大 聖 年 特別献金	献 金 合 計
小教区 (信徒数)	1月最終日曜日	四 旬 節	聖 金 曜 日	復活節第5主日	6月29日直前	9月第2日曜日	10月第3/第4	11月23日	12月第1日曜		
河原町 (1786)	142,637	405,090	145,568	187,859	233,690	202,347	211,235	115,535	224,624	287,474	2,156,059
桂 (685)	25,092	17,810	10,929	5,120	9,925	3,900	3,200	0	9,113	17,780	102,869
北白川 (305)	25,934	161,832	17,059	24,286	26,946	24,186	20,067	20,650	28,920	30,078	379,958
衣 笠 (552)	29,576	41,097	23,970	19,356	19,176	16,177	10,720	20,700	20,727	34,546	236,045
宇 津 (14)	4,000	0	2,500	1,800	4,600	2,300	2,500	3,800	2,800	2,700	27,000
山 国 (21)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000	3,000
九 条 (261)	10,411	43,240	5,550	7,960	7,600	7,300	6,400	6,340	4,410	11,090	110,301
小 山 (208)	2,669	8,050	2,000	3,150	3,000	5,576	1,150	1,350	1,350	7,150	35,445
西 院 (626)	19,570	30,627	21,866	10,040	28,293	9,105	9,200	6,000	4,232	23,824	162,757
高 野 (499)	16,911	68,345	52,103	10,300	9,550	4,750	12,000	6,300	10,450	64,210	254,919
西 陣 (151)	6,063	26,764	9,270	11,400	8,600	11,890	8,300	8,040	10,500	50,000	150,827
伏 見 (518)	19,795	114,174	28,309	8,325	21,545	12,137	9,129	10,200	11,974	20,951	256,539
桃 山 (517)	13,527	56,790	10,160	9,530	8,302	10,363	14,501	16,702	15,378	19,195	174,448
山 科 (342)	27,850	65,210	23,154	23,000	16,500	18,070	11,272	0	27,300	40,820	253,176
八 幡 (186)	17,831	93,944	10,550	15,450	13,900	12,000	11,990	12,101	17,461	26,500	231,727
宇 治 (584)	27,181	43,795	13,629	21,938	20,305	20,788	22,081	22,043	16,015	34,067	241,842
青 谷 (189)	9,863	7,000	2,000	3,861	3,570	8,444	6,470	6,051	8,223	8,140	63,622
丹 波 (315)	35,155	21,208	37,895	16,273	7,220	16,150	7,799	14,922	4,026	40,800	201,448
田 辺 (398)	16,236	83,653	19,110	17,708	21,210	19,945	21,453	19,855	6,949	44,542	270,661
精 華 (175)	8,000	13,500	9,700	1,000	9,400	3,500	3,500	0	6,000	19,500	74,100
長 岡 (314)	22,580	49,676	28,370	22,200	34,900	19,000	28,100	8,600	18,850	38,930	271,206
綾 部 (59)	100	2,000	0	2,251	3,600	2,800	2,000	500	2,289	4,000	19,540
福知山 (63)	4,000	14,000	0	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	46,000
報恩寺 (284)	20,000	30,000	0	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	30,000	140,000
西舞鶴 (322)	32,000	76,808	25,578	19,284	20,500	20,000	21,510	20,213	25,346	62,100	323,339
東舞鶴 (250)	14,500	62,060	5,100	5,900	12,600	8,850	5,000	7,000	9,120	22,940	153,070
宮 津 (310)	11,137	133,410	26,205	19,900	12,596	14,750	9,400	19,758	18,714	29,200	295,070
岩 滝 (172)	9,000	31,855	12,150	5,200	6,200	4,000	10,000	5,510	10,000	10,000	103,915
加 悦 (127)	12,725	67,300	0	5,000	10,506	18,781	6,141	10,000	7,541	20,050	158,044
網 野 (140)	4,305	4,846	3,300	6,600	6,310	2,510	6,820	6,450	3,442	10,000	54,583
丹後大宮 (131)	5,250	11,320	4,000	3,550	4,100	6,310	3,000	5,548	0	8,046	51,124
峰 山 (119)	7,146	23,671	10,223	5,125	6,300	6,000	6,500	5,300	4,000	14,800	89,065
大 津 (569)	28,404	8,800	15,353	10,200	10,207	4,450	7,900	3,200	7,201	29,100	124,815
唐 崎 (269)	5,970	15,255	8,740	9,620	4,465	10,349	8,701	8,964	17,212	29,600	118,876
安曇川 (79)	6,500	20,274	3,000	2,200	1,500	7,000	4,500	3,200	6,200	13,000	67,374
草 津 (877)	31,965	43,400	6,200	18,300	21,440	20,535	2,601	4,450	4,300	36,960	190,151
彦 根 (212)	16,510	29,682	20,000	10,200	26,600	24,065	22,700	16,750	19,305	25,800	211,612
長 浜 (94)	5,420	8,376	11,750	10,100	12,010	5,000	5,420	5,500	4,400	6,500	74,476
御 所 (150)	19,200	18,946	10,238	14,300	14,550	13,689	16,000	10,030	16,365	23,400	156,718
富 雄 (310)	34,761	28,710	10,120	18,639	16,330	18,768	22,545	15,950	16,961	15,521	198,305
登美ヶ丘 (498)	34,602	36,183	23,130	23,300	29,372	26,560	25,597	26,972	23,083	33,156	281,955
奈 良 (1056)	2,300	直接	46,926	5,408	2,640	18,305	5,900	0	31,500	64,450	177,429
大和郡山 (410)	27,000	152,490	17,500	24,000	32,930	31,000	25,700	32,000	17,000	30,000	389,620
大和高田 (437)	10,900	50,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0	10,810	20,000	141,710
西大和 (275)	17,140	25,925	8,417	10,800	12,156	7,800	14,588	0	10,275	10,361	117,462
大和八木 (280)	9,660	91,430	26,500	14,510	12,100	8,670	9,690	0	12,800	29,150	214,510
伊 勢 (383)	115,534	30,691	5,410	11,460	15,100	7,592	10,586	14,285	12,300	12,053	235,011
桑 名 (288)	6,305	16,110	40,088	14,100	7,050	8,600	24,000	9,200	6,200	32,600	164,253
鈴 鹿 (270)	17,800	50,402	11,270	4,800	2,600	13,860	8,000	0	1,000	15,410	125,142
亀 山 (51)	0	6,000	0	1,500	1,500	2,800	2,400	1,000	1,000	11,300	27,500
津 (460)	53,060	118,370	13,820	42,150	43,650	44,800	95,750	0	55,340	91,000	557,940
久 居 (183)	20,000	20,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	120,000
上 野 (151)	12,385	27,007	11,108	11,319	15,195	13,566	12,339	11,810	0	22,240	136,969
名 張 (151)	8,550	直接	5,800	8,510	9,370	7,580	7,780	6,700	8,210	8,260	70,760
松 阪 (257)	10,360	35,300	33,720	12,560	31,200	12,920	10,067	7,250	16,240	35,768	205,385
四日市 (757)	40,665	139,714	20,791	18,603	43,227	31,933	45,872	0	43,188	52,510	436,503
宇治カルメル共同体	15,632	17,000	9,720	7,150	16,410	0	0	2,050	600	21,000	89,562
小教区 計	1,151,667	2,799,140	939,909	831,095	1,006,546	885,771	914,074	582,779	895,244	1,719,572	11,725,797

特定献金一覧 つづき

(2000年度会計報告より)

	児童福祉 の日	四旬節 愛の献金	聖地のた めの献金	世界広報 の日	聖ペトロ使 徒座献金	国際協力 の日	世界宣教 の日	アジア 交流の日	宣教地 司祭育成	大聖年 特別献金	献金合計
<修道院>	1月最終日曜日	四旬節	聖金曜日	復活節第6主日	6月29日直前	8月第2日曜日	10月第3/4	11月23日	12月第1日曜		
エスコラピオス修道会	0	20,000	0	10,000	50,000	20,000	20,000	0	20,000	0	140,000
女子カルメル会	10,000	100,000	10,000	5,000	20,000	5,000	20,000	5,000	0	358,947	533,947
ヌヴェール愛徳本部	7,000	15,000	7,000	7,000	10,000	7,000	7,000	7,000	10,000	10,000	87,000
ヌヴェール愛徳ルルド	10,000	10,000	0	10,000	0	10,000	0	10,000	10,000	0	60,000
ヌヴェール藤の森	0	0	0	0	0	3,000	0	0	0	0	3,000
ヌヴェール深草	5,000	5,000	5,000	3,000	3,000	0	3,000	3,000	3,000	5,000	35,000
マリアの御心会	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000
聖母訪問会京都	2,000	0	0	2,000	4,000	2,000	7,000	2,000	2,000	0	21,000
聖母訪問会天台	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	0	5,000	0	40,000
フランシスコ会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
幼きイエズス信愛修	5,000	0	0	5,000	10,000	10,000	5,000	5,000	0	20,000	60,000
幼きイエズス衣笠	25,000	15,000	0	15,000	15,000	5,000	15,000	5,000	5,000	10,000	110,000
聖母訪問草津	5,000	0	0	5,000	5,000	0	0	0	5,000	0	20,000
ウイッチタ聖ヨゼフ	15,000	10,000	0	10,000	10,000	10,000	10,000	0	5,000	10,000	80,000
隣保聖体会	0	14,000	0	0	0	0	5,000	0	0	8,000	27,000
聖ドミニコ女子	5,000	15,000	0	5,000	5,000	5,000	5,000	0	5,000	0	45,000
聖心のウルスラ	0	85,510	0	0	0	0	0	0	5,000	0	90,510
聖ウルスラ(修)	0	0	0	0	3,000	0	0	0	0	0	3,000
ノートルダム教育修	50,000	50,000	0	50,000	50,000	50,000	100,000	0	50,000	30,000	430,000
コングレガシオンND	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114,000	114,000
修道院計	154,000	354,510	27,000	132,000	190,000	132,000	202,000	37,000	125,000	575,947	1,929,457
学校・施設計	1,624,038	232,633	0	0	300,000	0	0	342	20,000	450,700	2,627,713
前年度分	0	40,198	0	0	0	2,010,802	10,290	0	0	0	2,061,290
合計	2,929,705	3,426,481	966,909	963,095	1,496,546	3,028,573	1,126,364	620,121	1,040,244	2,746,219	18,344,257

この金額は、献金日からほぼ一カ月後に本部事務局からまとめて送金した金額です。

ご協力ありがとうございました。

教区本部事務局 森田直樹

「パガサ・フィリピン共同体」その歩み

「パガサ」はタガログ語で「希望」という意味です。京都の「パガサ・フィリピン共同体」は次のようにして生まれ発展してきました。

一九八〇年代、日本で働く外国人の人口が急速に増え始めた時代に、京都教区のビジョンの一つに「滞日外国人支援」を掲げていました。けれども、カトリック教会では滞日外国人との実際の出会いはまだ体験していませんでした。

こうした中、一九八四年の十一月に一人のフィリピン人女性が衣笠教会を訪ねてきました。これをきっかけに、一九八五年二月から、毎週日曜午後三時英語ミサが始まったのです。信愛幼稚園とシスター方が十五年間にわたって寛大に場所を提供してくださいました。フランシスコ会のゲラルド師(後にランティアの協力もありました。これらのお陰で、生まれたばかりのコミュニティは健やかに育つことが出来たのです。

はじめのうちフィリピン人は主に独身の女性でしたが、時と共に男性が加わり、子ども、家族の数も増え、コミュニティは大きくなりました。司牧のニーズも変化してきました。コミュニティはフィリピンからフランシスコ会のシスター方を迎え、評議員会を組織してこれらの司牧ニーズに応えるようになったのです。

『スマイリング・ユース・グループ』とは

子どもの成長に伴い緊急に必要なことは信仰教育です。二年前から少しずつ始められましたが、難しい問題の一つひとつ乗り越えながら続けているのが現状です。

未信者である日本人を父に、クリスチャンであるフィリピン人を母にもつ子どもが、自己のアイデンティティをどのように受け止め、また今をどのように考え、私たち大人に何を期待しているのか的確に感じることが大切だと思います。

二〇〇〇年八月二七・二八日、西院カトリック会館でワークショップ「日本人・フィリピン人青年リーダーシップトレーニング」を試み

ました。プログラムは(a)自己を知る、(b)忘れられない思い出の分かち合い、(c)グループ作業による協働精神、演劇練習で表現力を養う等。子どもたちが個々に役割を持ち、み言葉であるイエス様との対話の中でミサに与る。このプログラムで子どもたちは互いに親しくなり、独りぼっちではないと感じ、一人ひとり生き生きとして、ミサも少しは解った」というものでした。幼児期をタガログ語・英語・日本語で育った子どもたちが、神秘的に神と出会う日をこどものもつ可能性を信じ、希望をもって見守りたいと思っています。

二〇〇一年一月二十七・二十八日、二回目のワークショップに友人同伴で子どもたちが参加し、演劇練習、役員選出、このグループに名前を付け、ミサで終わりました。この子どもたちが選んだグループの名前は『スマイリング・ユース・グループ』です。次の記事はワークショップの中で感じたことを文字に十才の子どもの思いを覗かせたものです。

「西院教会の集会に行つて」

副リーダー 松坂紀子

平成十三年一月二十七・二十八日、西院のカトリックセンターに泊まりに行つた。初めての人はカチンコチンだったけれど、私は2回目だったので慣れていて、でも、初めての人たちもみんな自己紹介などをして、だんだん慣れてきたようすだった。私は初めての人の二人にあだ名を勝手につけた。一人はふつうだったら「フクちゃん」と呼ばれているらしいが、私は「フグチャーハン」というあだ名に決めた。もう一人は「ミッちゃん」って呼ばれてるらしいが、私は「ハチミツチャーハン」と言っ

ている。

それから劇の練習など楽しい時間を過ごした。劇の練習で一番最初にしたテーマは「鏡」だった。二人ずつになって、一人は動作をし、もう一人は鏡のようにもう一人の真似をした。劇の先生はジーナ・ウマリさんだ。みんなの鏡を見て一番面白かったのは、マウイとけんちゃんのグループだった。

トイレに行く劇をしたのだ。みんな大爆笑だった。その後、お弁当などを食べて、待ちに待った寝る時がきた。子どもにとってお泊まり合宿などのメインイベントと言え「夜」、つまり寝るとき！

大人がいない時に、みんなで枕投げをしたりおしゃべりしたり、子ども天国なのだ。でも、二十七日は大人と一緒に寝ていたのでそんなことは出来なかった。がっかりした。男部屋にも大人が一人いたけれども、それにも拘わらず元気に枕投げをしていた。

次の日、教会で劇をすることに。聖書の話で、水をぶどう酒にかえるというイエスさまがおこした最初の奇跡を劇で演じるの

だ。三十分ぐらい練習してから本番に入った。イエスさまはルカ神父さまだ。でも本番の時、ルカ神父さまが台本と違うことを言うので面白かった。ナレーターはシスターも間違えた。でも、本当に水がぶどう酒にかわったので、みんな驚いていた。おにいちゃん以外。おにいちゃんには、マジックを知っているから。これからもういうことがやりたいです。



パガサ・フィリピン共同体
千六〇四一八八五五

京都市中京区壬生淵田町二六
西院カトリック会館内
電話〇七五(八二二)八九五二



養成シリーズ 病人訪問コースに寄せて

—キリストの眼差しの中で—

高齢化社会が進むにつれ病人が増え、病むこと、老いることへの関心が高まるばかりか避ける事の出来ない状況の只中に立たされています。その中では、多くの人々が病人をかかえ、看病や介護にかかわっておられたり、あるいは、ボランティア活動を通して病人と接し奉仕にたずさわっておられます。しかし生き生きとされている者として、生老病死は誰もが直面しなければならない現実です。

私たち自身が病むこと・老いることにどのように向き合い関わっている事でしょうか。苦しむ人の気持ちを和らげ、安らぎをもたらす訪問のあり方、接し方はどうあれば良いのでしょうか。

福音センターは、こうしたニーズに応えるため

カトリック 福音センター ニュース

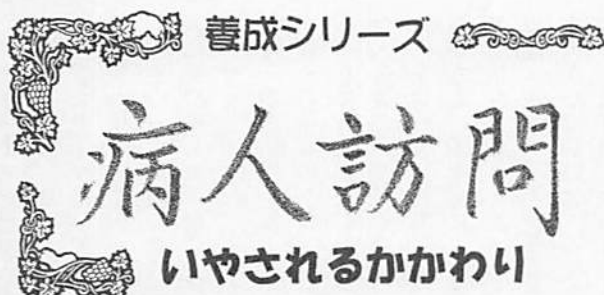


に病院訪問コースを企画・実施して参りました。今回も沼野尚美先生と共に下記のプログラムを実施します。

聖書には、病人の存在は単に奉仕の対象としてではなく、病人も共同体の一員としての役割の中で考えられ、イエスの癒しが共同体の祈りの中で行われていることが記されています。

自分や他人の苦しみを一緒に背負ってくださるキリストの眼差しを、病める人も援助する人も共に見出していきたいものです。

福音センター



日 時：2001年5月25日（金）16時～5月27日（日）15時終了
場 所：宝塚 売布（めふ）黙想の家 阪急宝塚線 売布下車5分（0797-84-3111）
講 師：沼野 尚美師

かかわること～病床訪問の心得
内 容 自分に気づくこと 聴く姿勢を育てる
病人と共同体(家族)

申込み方法 5月15日までに！

氏名・住所・郵便番号・電話番号をご記入の上、参加費20,000円を添えてお送り下さい。

郵便振替の場合⇒口座番号14460 27065111 カトリックきょうと福音センター

申込先 〒604-8845 京都市中京区壬生淵田町26

カトリック福音センター 養成コース係

Tel 075-822-7123 Fax 075-822-7020

(Eメール fukuin-c@thia.ocn.ne.jp)



良い便りの証し人の養成

<そばに置くキリスト>

イエスは、各福音書にありますように、その伝道活動の始めからご自身の協力者の教育をなさいます。イエスは弟子たちを「自分のそばに置く」(マルコ 3・14) ことによって、暖かく、しかも忍耐強く、良い便りの証人として育てていきます。

<弟子を養成するキリスト>

イエスによる弟子の養成はおおまかに二つの要素を含んでいます。1つ目は、他者の必要や苦しみに気づく人間形成です。2つ目は、祈りと御言葉への奉仕者(使徒言行録 6・4) になることです。

別な表現を使うならば、自由な心をもって、自己を神にゆだね、イエスの十字架への道とその死と復活の意味を少しずつ理解していくことです。

今回は1つ目の要素について考えてみたいと思います。

<人の痛みを癒すキリスト>

人間形成の要素には奇跡が目立ちます。今年朗読されているルカ福音書を例えとしてみると、4章から9章までに次の様な場面があります。

悪霊つきの癒し、シモンの姑、らい患者、中風患者、手の不自由な人、百人隊長の僕、ナインのやもめの息子の奇跡、静められた嵐、ゲラサの悪霊つき、出血症の女性、ヤイロの娘、パンの増加などの奇跡物語が記されています。

<弟子の感受性をそだてるキリスト>

弟子たちはこれらの癒しの出来事の目撃者として、苦しむ人々に近づく機会を得て、社会の中にどれほど見捨てられた人がいるか、どれほど墮落があるかを目の前にして、感受性のある者となるように養成されたのです。イエスはご自分の持っておられる他者の痛み苦しみを見抜く力に弟子たちをあずからせてくださいます。

弟子にとってこの最初の訓練は大切に、良い便りを伝える者になるためには、どうしてもこの道を経なければなりません。

私たちも、苦しんでいる人や病人への奉仕をすることによって、福音の魅力、イエスの死と復活の力を再発見し、良い便りの証し人になっていきたいものです。



互いに重荷を担いなさい (ガラテヤ 6・2)

良書紹介

私たちの信仰生活に、潤いと希望を与える、分かりやすい良書を紹介いたします。

司教団メッセージ、聖書講座シリーズ講義録の二冊を選びました(編集者)。

★司教団メッセージ

日本カトリック司教団編著

『いのちへのまなざし』

カトリック中央協議会

二十一世紀を生きるすべての人に向けられた、日本の司教団からのメッセージです。

これまで人類が長い間取り組んできた未解決な共通の課題である、夫婦、性、家族、親子、老年などから始まって、障害、自殺、出生、死刑制度、環境、さらには二十世紀末に主要なテーマとして浮かび上がってきた出生前診断、安楽死と尊厳死、臓器移植と脳死、クローンとヒト胚研究、遺伝子治療といったテーマを体系的に紹介しながら、人間を含む生けるものすべてに向

けられる私たちの「いのちへのまなざし」の再点検を呼びかけている。これは、創造主である神が用意されたこの宇宙、とりわけ地球の中で、生きるものの創造主のまなざしを示してくれた救い主イエスご自身の「いのちへのまなざし」へ立ち返るという、私たちとこれから生まれてくる人々に向けられた二十一世紀へのメッセージです。

税別三百円

★聖書講座・講義録より

京都教区聖書委員会編

『御父・御子・聖霊なる神』

京都教区聖書委員会

聖書に親しむための聖書講座から抜粋した講義録です。京都教区聖書委員会の編集によって誕生した、読みやすく分かりやすい話し言葉で、福音宣教の現場で活躍している方々が、読者の心にふれてきます。

税込み千円

＜京都教区・外国語ミサ＞

英語ミサ (ENGLISH)

・SAIIN CHURCH

西院教会 ～PAG-ASA COMMUNITY

Every Sun. 3 p.m. 毎週日曜日、PM 3:00

・FRANCISCAN HOUSE

フランシスコの家

Every Wed. 3 p.m. 毎週水曜日、PM 3:00

・NISHI MAIZURU CHURCH

西舞鶴教会

Every First Sun. 3 p.m. 第1日曜日、PM 3:00

・KUSATSU CHURCH

草津教会

Every Fourth Sun. 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00

・NARA CHURCH

奈良教会

Every Last Sun. 3 p.m. 最終日曜日、PM 3:00

・YAGI CHURCH

大和八木教会

Every Third Sun. 2 p.m. 第3日曜日、PM 2:00

・KORIYAMA CHURCH

大和郡山教会

Every Wed. 3.30 p.m. 毎週水曜日、PM 3:30

・TSU CHURCH

津教会

Every Third Sun. 2 p.m. 第3日曜日、PM 2:00

・YOKKAICHI CHURCH

四日市教会

Every Third Sun. 1 p.m. 第3日曜日、PM 1:00

・SUZUKA CHURCH

鈴鹿教会

Every Fourth Sun. 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00

・KAMEYAMA CHURCH

亀山教会

Every Second Sun. 9 a.m. 第2日曜日、AM 9:00

韓国語ミサ (한국어 미사)

京都コリアン・カトリックセンター

第1日曜日 午前10時

スペイン語ミサ (ESPAÑOL)

・Iglesia de FUSHIMI

伏見教会

Segundo Domingo del mes 2 p.m. 第2日曜日、PM 2:00

・Iglesia de KUSATSU

草津教会

Tercer Domingo del mes 2.30 p.m. 第3日曜日、PM 2:30

・Iglesia de NAGAHAMA

長浜教会

Cuarto Domingo del mes 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00

・Iglesia de SUZUKA

鈴鹿教会

Segundo y Tercer Domingo del mes 2 p.m.

第2・3日曜日、PM 2:00

・Iglesia de KAMEYAMA

亀山教会

Cuarto Domingo del mes 9 a.m. 第4日曜日、AM 9:00

・Iglesia de TSU

津教会

Cuarto Domingo del mes 2 p.m. 第4日曜日、PM 2:00

・Iglesia de YAGI

大和八木教会

Primer Domingo del mes 2 p.m. 第1日曜日、PM 2:00

・Iglesia de NISHI YAMATO

西大和教会

Segundo Domingo del mes 3 p.m. 第2日曜日、PM 3:00

・Iglesia de YOKKAICHI

四日市教会

Cuarto Domingo del mes 12 a.m. 第4日曜日、AM 12:00

・Iglesia de UENO

上野教会

Tercer Sabado del mes 7.30 p.m. 第3土曜日、PM 7:30

ポルトガル語ミサ (PORTUGUES)

・Igreja paróquia do KUSATSU

草津教会

Segundo Domingo do mes 3 p.m. 第2日曜日、PM 3:00

・Igreja paróquia do YOKKAICHI

四日市教会

Primer Segundo Domingo do mes 4 p.m. 第1・2日曜日、PM 4:00

・Igreja paróquia do SUZUKA

鈴鹿教会

Todos los Domingos do mes 6 p.m.

毎週日曜日、PM 6:00

・Igreja paróquia do KAMEYAMA

亀山教会

Primer Domingo do mes 9 a.m. 第1日曜日、AM 9:00

お知らせ

教区委員会から

◆聖書委員会◆聖書深読26日(土)

松本秀友師10時~16時 場所 河

原町カトリック会館 費用200

0円、持参品 聖書・筆記用具・

ノート 申込み 聖書委員会電話

075(211)3484

▼聖書講演会 森 一弘司教7月

8日(日)13時半 テーマ「聖書

の中の教会の心としての聖母マリ

ア」河原町教会地下ホール 問合

せ聖書委員会まで

◆典礼委員会◆教会の祈りと聖体

賛美式 第一日曜日17時30分河原

町教会、第三土曜日16時30分衣笠

カルメル修道会

地区から

◆滋賀カトリック協議会◆福音セ

ンター出前コース・典礼研修会

「典礼と福音宣教」12日(土)10

時~15時。講師 福音センタース

タッフ 場所 唐崎メリーノールハ

ウス。6000円(昼食代を含む)

▼安土セミナリヨ祭・合同堅信式

27日10時半

◆奈良カトリック協議会◆右近こ

どもまつり5日(土)10時半 奈

良県榛原町沢「高山右近顕彰碑前」

問合せ大和八木教会 電話074

4(22)3855田中▼奈良カ

トリック協議会20日(日)14時

大和郡山教会▼奈良県合同堅信式

&ファミリーデー27日(日)13時

半 野外礼拝センター▼ワークショッ

プ29日(火)13時 登美ヶ丘教会

ホール 講師 メリー・ヤニク

テーマ「教会の中での健全なコミュ

ニケーションとは」

小教区から

◆北白川教会◆主日ミサの時間変

更 午前9時が午前9時半に変わ

りました(平日は午前7時、祝日

は午前9時)。

◆西陣教会◆家族の集い20日(日)

▼信睦二金会第二金曜日10時15分

修道会から

◆京都女子カルメル会修道院(衣

笠)ミサと講演「十字架の聖ヨハ

ネに学ぶ」一宇宙の子守唄?一

20日(日)13時半 講師 奥村一

郎師

教育関係施設から

◆聖母教育文化センター◆聖書講

座 毎週金曜日9時半~10時半

場所 聖母教育文化センター(京

阪藤の森下車徒歩5分)指導

ヌ ヴェール愛徳修道会シスター▼各

種講座を行っています。問合せ

075(641)0507

諸施設・諸活動から

◆親交会◆春季例会13日(日)13

時半 衣笠教会 ミサと懇親会

◆子羊会◆黙想会27日(日)10時

指導司祭 中川博道師 場所 ウ

イチタ聖ヨゼフ修道院(竜安寺)

◆レジオ・マリエ▼コミチュム20

日(日)13時半

◆カナの会◆5月休み

◆京都キリシタン研究会◆都の聖

母奉賛ミサ13日(日)14時 將軍

塚

◆聖ビンセンシオ・ア・パウロ会

▼河原町協議会13日(日)▼京都

中央理事會27日(日)何れも13時

半河原町教会

◆在世フランシスコ会京都兄弟会

19日(土)13時半フランシスコの

家

◆コロチェレステ◆練習日第2、

第4、第5木曜日10時~12時河原

町会館ホール

◆京都カトリック混声合唱団◆練

習日13日(日)14時、26日(土)

19時河原町会館六階

お知らせ

◆祝司祭叙階

レデンブートル会 井上 武師

3月20日(祝)東京初台教会にお

いて司祭に叙階されました。

◆祝助祭叙階

京都教区 奥村 豊師 3月18

日(日)伏見教会において助祭に

叙階されました。

◆祝助祭叙階

レデンブートル会 三輪周平師

3月20日(祝)東京初台教会にお

いて助祭に叙階されました。

◆司祭の異動

▼新任命 京都教区生涯養成担当

ハイメ・ラレス師 松本秀友師

村上透磨師 ビーター・ウィック

ス師(2月15日付)

◆教区合同洗礼志願式の報告

3月4日(日)河原町教会で教

区合同洗礼志願式が行われ、70名

(当日出席67名)の志願者を含め

多くの方が参加されました。多く

の方のご協力をいただきました。

どうもありがとうございました。

◆「一万匹の蟻運動」基金報告

累計28,274、272円

(3月19日現在)

大塚司教の

5月のスケジュール

- 5日(土) 右近こども祭10時
6日(日) スヴェール愛徳修道会
来日80周年記念ミサ10時半(本部修道院)
8日(火) メリノール会ミサ(唐崎ハウス) 16時45分
9日(水) K.K.(機構改革)委員会15時
社会問題司教勉強会18時
10日(木) 常任司教委員会10時
正義と平和協議会事務局会議16時
13日(日) 日韓歴史勉強会18時
細川ガラシャ顕彰ミサ10時
15日(火) カリタス会理事会14時
16日(水) 京都・京都南学法理事會14時
17日(木) 司教顧問会・責任役員會10時
司教評議会常任委員会14時
19日(土) カロンデレット祝別式(津) 11時
22日(火) 滋賀学法理事会14時
23日(水) 24日(木) 正義と平和協議会運営委員会

27日(日) 奈良ファミリデー11時

時

安土セミナリオ合同堅

信式 田中司教司式

28日(月) 29日(火) 青少年委員研修會

30日(水) メリノール学院理事会13時半

31日(木) 司教全体集會10時半
司教評議会15時

◆児童福祉の日献金について

今年度のローマへの日本からの送金額は、六六、一三三、八三三円に達しました。この献金は、幼稚園や保育園などを通してカトリック信者以外の子どもたちの献金も寄せられるので、日本は有数の援助国となっています。

(教皇庁宣教援助事業 日本事務担当からの礼状による)

◆編集部からのお知らせ

お知らせに載せたい情報は、7月号でしたら5月21日までに、8月号でしたら6月18日までに、京都教区事務局内「京都教区時報」宛にお願いします。

今年度の青年センターの活動

京都南部地区運営委員 中井 陽

この原稿が皆さんの目に止まるのは五月の初め頃だと思いたすので、かなり遅くなりますが、昨年十二月、今年二月の運営委員会において話し合われた今年度の青年センターの活動計画について、この場でご報告したいと思います。

青年センターは今年十二年目を迎えています。今回特に新たな試みをスタートさせる事になりました。それは私達が「学び」の機会を継続的に持とうというものです。その趣旨は、「出会い、交流する」という今までの主題であった活動にプラスαするものとして、「共に学び、内的に深め合い、高め合う」という新たなステップを目指す事にあります。

思います。正直な所、物足りなさを感じていた部分もありましたが、漠然としたものでしかありませんでした。

実は、私が青年センターの機関紙「ジョバニ」七二号に寄稿した一文に信徒の方からのお手紙を頂きまして、それが今回の方向性を見出すひとつのきっかけになりました。

運営委員会では、皆が思いを分かち合い、学びの時を持つ必要性を確認する事が出来ました。その必要性とは、青年達が人間として、そして信徒として成長していく事だと思えます。そしてまずは始めてみようという結論に達しました。

この原稿が出る頃には既に動き出しています。日程、内容などの詳細については「ジョバニ」で随時ご報告できると思いますので、またご覧頂くかお問い合わせ頂ければと思います。

これから私達の活動を見守り、適宜励ましと助言を頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願いたします。

この原稿が皆さんの目に止まるのは五月の初め頃だと思いたすので、かなり遅くなりますが、昨年十二月、今年二月の運営委員会において話し合われた今年度の青年センターの活動計画について、この場でご報告したいと思います。